

サンダンス映画祭2016

ワールドシネマ部門グランプリ&観客賞ダブル受賞

0401325

沈黙のかわりに私は叫ぶ。

SONITA

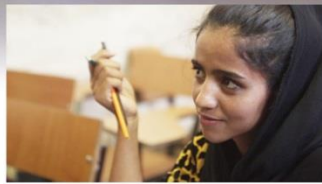
ソニータ

絶望の淵に立たされたときあきらめない少女の歌は奇跡を引き寄せる。
家族のために結婚を強られる魂のラッパー、ソニータは
歌い、自らの運命を変えていく——



世界中の映画祭で観客の心を奪ったドキュメンタリー！

いつかはビッグスター。
明日を信じ、
決して夢を諦めないソニータは
歌い、カメラの目の前で
現実を動かしていく。



16歳のソニータに迫る結婚。彼女は自分らしく生きる道を選択する。

ソニータの理想の両親はマイケル・ジャクソンとリアーナ。もしパスポートを持っていたら名前はソニータ・ジャクソンにしたいと言う。スクラップブックに書いた夢は有名なラッパーになること。しかし、現在の彼女のファンはイランの首都テヘランの子ども保護施設の子どもたちだけ。パスポートも滞在許可証もなく、アフガニスタンのタリバンから逃れてきた難民の彼女は、不法移民としてこの施設で心の傷を癒やすためのカウンセリングや将来のアドバイスを受けている。一方で彼女の家族は全く別の将来を準備していた。アフガニスタンに住む親は、16歳になったソニータを、古くからの習慣どおりに見ず知らずの男性に嫁が

せようとする。花嫁の値段は9,000ドル。夢を追いかけたいソニータに結婚する気はない。しかし、家族との関係も失いたくない。そんなジレンマを抱えながらも女性が歌うことが許されないイランで、ソニータはどうしたらラッパーになる夢を叶えることができるのだろうか？ ロクサレ・ガエム・マガミ監督は、取材対象の人生に関与すべきかどうか悩みながらも、同じ女性としてこの間に答えるようにソニータの夢と人生に深く関わることとなる。ラップのビデオクリップを製作すると、運命を変える出来事が起きる。果たしてソニータは人生を変えるチャンスをもにできるのか？

ソニータの魂のライミングに心揺さぶられる
この映画の意味を
受取手が意義に変えなくてはならない

斎藤工
(プロダクション・エンタープライズ)

自分を信じることで、どんな時も夢と勇気を
持ち続けることが運命を切り拓いていく、ということ。
ソニータの人生は教えてくれます。

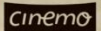
川井郁子
(ヴァイオリニスト・作曲家)

難民という厳しい境遇でも
諦めずに夢を追い奮闘するソニータの勇気と微笑みに感動した。
この作品を多数の方々にご覧いただきたい。
無数に存在するソニータの様な難民への理解を深め
支援にも立ち上がってほしい。

緒方貞子
(第8代国連難民高等弁務官)

監督:ロクサレ・ガエム・マガミ
出演:ソニータ・アリザデ、ロクサレ・ガエム・マガミ
製作総指揮:ゲルト・ハーク
配給:ユナイテッドピープル
後援:国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所、Girl Power、ハリウッド化粧品
2015年 / 91分 / スイス・ドイツ・イラン
unitedpeople.jp/sonita

市民上映会主催者募集 詳しくは cinemo.infoへ
お問い合わせ film@unitedpeople.jp



日時: 9月29日(日) ①13:15 ②15:00 (上映 91分)
場所: プラス・ド・パスレル(保谷庁舎・こもれびホールの前)
(西東京市泉町3-12-25パスレル保谷 2F 1F・生活クラブ生協)
入場料: 1000円、子ども・学生 500円(当日券のみ)



収容人数は30人。ほぼ入場可能と思われますが、ご心配な方はご予約下さい。

主催: 西東京・生活者ネットワーク
(TEL042-453-4121 nishitokyo@seikatsusha.net)